

社会科学学習指導案

指導者 広島市立〇〇中学校
教諭 〇〇 〇〇

1. 日時・場所 平成23年12月〇日(〇)
2. 学年・組 第2学年〇組
3. 単元名 産業革命の進展
4. 本時の目標： 資料から、当時の労働者の労働の実態を読み取ることができる。
工業が盛んになったことで起こる弊害について考えることができる。

	主な学習活動と 予想される反応	指導上の留意点	評価規準
導入	1 今までの学習を簡単に振り返る。 2 本時の目標を伝える。	○ビゴアの描いた絵から、明治に入ってからからの社会の動きを復習する。 「日英同盟とその意味」だけは授業で扱っていないので、じっくりと考えさせる。	【ICTの活用】 ビゴアの絵を実物投影機に映す。 (一斉形態で提示)
展開	産業革命が進展した中で、どのような問題点が出てきたのだろうか？		
展開	3 日本の産業革命の流れを知る。 4 産業革命によって生じた、労働問題や社会問題を理解する。 《予想される生徒の反応》 ・労働時間が長すぎる ・睡眠時間が少ない ・食事が粗末 ・部屋が汚い	○イギリスより、100年以上も遅れて起こっていることを押さえる。 ○労働者の実態を紹介し、問題点を考えさせる。 ○健康が害される可能性が高いことに気付かせる。 ○急激な工業の発展に伴い、公害が起こることに気付かせる。	【資料活用の技能】 ・資料を読み、当時の労働者の労働の実態を読み取ることができる。 (ワークシート) 【知識・理解】 ・工業が盛んになったことで起こる弊害について考えることができる。 (ワークシート)
まとめ	5 授業の振り返りを行う。		

○ICT活用のねらい：

- ・しっかりと考えさせるために、実物投影機を用いてヒントが書かれていない資料を大きく提示する。
- ・実物投影機を用いて関係する絵を大きく映し、発問することで、見るべきポイントを焦点化させる。また、実物投影機を用いて答えを書き込んでいくことで、視覚的なアプローチから知識の定着をねらう。